

ほけんだよい

2023. 3. 3 NO. 17 岐阜市立黒野小学校 保健室 3月の健康目標 「1年間の健康生活をふり返ろう。」



3月3日は耳の日です。



どうして耳の日となったのか知っていますか？

「耳が聞こえない」「目がみえない」「口がきけない」という三重苦のヘレンケラーがサリバンという先生について、生まれて初めて、教育を受けた日。

電話の発明家であり、耳の研究家でもあったグラハム・ベルの誕生日。

数字の3は、耳の形と似ている。3のことを「み」と数える言い方から「みみ」。

※ 耳は、人と人とのコミュニケーションをはかる上で、また社会生活を送る上で大切な働きがあります。この耳の果たす役割を考え、大切にするとともに、耳の不自由な人々への理解を深める日として、昭和32年（1957年）に、3月3日が「耳の日」として制定されました。



耳の働き

音を聞く

耳の穴（外耳道）から入ってきた空気の振動（ふるえ）を集めて、脳に伝えます。

体のバランスをとる

体のかたむきや回転を感じる部分は、耳のいちばん奥にあります。

耳を守ろう

耳の近くで大きな音・声を出さない



耳あかは自然に出てくる？

耳のフシギ

耳あかは、耳の穴（外耳道）にあるアポクリン腺から出る液が固まったものです。外耳道は、耳の奥から外側に少しずつ動いているので、奥にできた耳あかは、自然に入り口近くに押し出されてきます。

耳がツーンとするのは？

耳の外側と内側は「鼓膜」という、うすい膜で区切られています。トンネルの中や高いところでは気圧が変化して鼓膜が押されるので、耳がツーンとした感じになります。つばを飲みこむとなおります。

耳のそばをたたかない

耳をさわらない